

令和2年度 第2回東郷町地域ケア推進会議：議事録

日時	令和2年8月26日（木）14時00分～16時00分
場所	東郷町役場2階 第3会議室及びzoom
出席者	<p>委員 ※敬称略、順不同</p> <p>松浦誠司 医師（東名古屋東郷町医師会）</p> <p>岡松猛 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部）</p> <p>福島美佐子 訪問看護師（虹色訪問看護ステーション）</p> <p>木村誠子 瀬戸保健所 健康支援課</p> <p>森本美香 こども健康部 健康推進課</p> <p>近藤秀己 東郷町社会福祉協議会</p> <p>土井肇 東郷町北部地域包括支援センター</p> <p>松藤暁 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑</p> <p>制野司 有識者（社会福祉法人 昭徳会）</p> <p>村井良則 有識者（東名古屋医師会在宅医療介護総合研究センターやまびこ）</p> <p>池田寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし）</p> <p>小島通範 東郷町民生委員児童委員連絡協議会</p> <p>野々山清子 東郷町民生委員児童委員連絡協議会</p> <p>小幡一雄 施設サービス関係（愛厚ホーム東郷苑）</p> <p>松山陽二 居宅介護支援事業所（もみの木）</p> <p>神脇和美 住民代表（第1号被保険者）</p>
欠席者	<p>佐藤裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会）</p> <p>近藤修司 居宅サービス関係（エイジトピア諸輪）</p> <p>海老原由美 住民代表（第2号被保険者）</p>
傍聴者	なし
事務局	<p>福祉部長</p> <p>高齢者支援課長（進行）</p> <p>高齢者支援課職員 4名</p>
議題	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 令和2年度在宅医療・介護連携推進部会について</p> <p>(2) 令和2年度地域支え合い協議体について</p> <p>2 議題</p> <p>第8期東郷町高齢者福祉計画素案について</p> <p>3 その他</p> <p>第8期東郷町高齢者福祉計画策定スケジュール（案）について</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 令和2年度第1回在宅医療・介護連携推進部会 報告書</p> <p>資料2 令和2年度第1回地域支え合い協議体の活動状況</p> <p>資料3 第8期高齢者福祉計画素案</p> <p>資料4 第8期高齢者福祉計画策定スケジュール（案）</p>

1 あいさつ（委員長）

2 報告事項

(1) 令和2年度在宅医療・介護連携推進部会について

事務局	資料説明。資料1
委員長	事務局から説明を頂いた。ご意見・ご質問がないようなので、次に移る。

(2) 令和2年地域支え合い協議体について

事務局	資料説明。資料2
委員長	事務局から説明を頂いた。ご意見・ご質問がないようなので、次に移る。

3 議題

第8期東郷町高齢者福祉計画素案について

事務局	資料説明。資料3
委員長	事務局から説明を頂いた。意見を伺いたい。
委員	<p>はじめに、計画の素案について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 10 頁、「要介護認定率」ではなく「要介護認定者率」の方が良い。・ 17 頁の「外出を控えている理由」の結果の表について。「一般高齢者」の記載位置がおかしいと思う。表題の最後に「一般高齢者」と入れる方が良い。・ 25 頁 1 行目から 2 行目に係る施設等への入所・入居の検討状況に関する記載については、「」などを付けないと文章が読みづらい。・ 34 頁以降の指標について、「実施」と「設置」の違いの説明がないため分かりづらい。・ 40 頁の指標「介護予防・日常生活支援総合事業の短期集中サービス利用者数」について、平成 29 年度と 30 年度の実績値が乖離しているのはなぜか。・ 51 頁の兵庫小学校区の高齢化率は誤りではないか。・ 64 頁の指標目標に出てくるアンケート結果が、第 2 章のアンケート調査結果に記載されていない。また、事業名の後ろに付いている☆印は何か。・ 71 頁の指標目標は交付冊数になっているが、どれくらい使用されているかなど、使用枚数などにした方が良いのではないか。・ 74 頁は、サポーターが 4 つも記載されているので、整理して記載してあると良い。・ 81 頁の 3 つ目の指標目標に「職員の過不足」とあるが、過剰にならないと思うので、「不足はありますか」などに変えた方が良いと思う。目標値の「減少」という表記も改めた方がよい。・ 85 頁の世界アルツハイマー月間については、直前に「9月の」と追記してほしい。 <p>最後に、先ほどの説明で用語集を入れると言っていたが、計画を読み進めると、どの言葉が用語集に記載されているのか分からない。第 7 期計画も最後の</p>

	<p>頁の用語集まで読まないとなかなか分らなかったため、今回は用語集にある単語に印を付けたり、文章の真下に用語解説を入れるなどした方がありがたい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10 頁の表記については、他の資料と勘案して検討する。 ・ 17 頁及び 25 頁の表記も修正する。 ・ 38 頁以降の表現について、「実施」は事業を始めた、「設置」はチームなどを作ったという意味で表記しているが、もう一度検討する。 ・ 40 頁の数値について、平成 29 年度とそれ以降では事業内容が違っているため、29 年度の数値は正しい。29 年度は教室方式で実施しており、教室の参加者数を延べ人数で計上している。30 年度からは、一人ずつに対して、介護事業所への通所リハビリテーションと自宅への訪問型のリハビリ指導を約 3 から 6 か月間実施する形に変わった。第 7 期計画の目標の中で、現在行っている事業の実績値を記載する項目がこちらしかなく、指標が急激に下がったように見えるため、注釈は入れようと思う。 ・ 51 頁の高齢化率は正しい。 ・ 64 頁のアンケート結果については、第 7 期計画では抜粋したデータを前半のアンケート結果概要に記載し、その他は巻末に掲載していたので同様にするか、前半の概要に記載できそうであればそちらに記載する。 ・ 64 頁の☆印は、第 7 期計画に記載されていなかった新規の事業を表しているが、注釈も入れる。第 7 期計画の☆印は重点施策に付いており、そのように注釈も載っている。 ・ 71 頁は、「交付冊数」と表記しているが、実際は助成人数の数字なので、表現を「助成人数」に修正する。 ・ 74 頁の各サポーターは取組の事業内容に記載してあるとおり、例えば、地域サポーターは平常時の見守り活動や災害時の安否確認を迅速に行い、社会福祉協議会と連携して支援している人たちである。誰に対してどのようなことをしているサポーターなのか分かるような表現を考える。 ・ 81 頁の指標の表記は「不足」のみに修正する。目標値は数字を減少させることを目標としているが、分かりやすい表記に修正する。 ・ 85 頁は「9月の」を追記する。 用語解説については、その都度の記載されている方が分かりやすいと思うが、紙面の都合上で可能かどうか検討する。記載が難しいようであれば、用語集という形になるかもしれない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25 頁(8)で、「6 割を超える人が在宅での介護を希望しています」とある一方で、ケアマネジャーへの調査では「不足していると思うサービスとして「訪問介護」の割合が最も高くなっている」とあるため、3 行目の「また」は「しかし」に改めた方が良いと思う。 ・ 38 頁の「②在宅生活を支える福祉サービス」について、主な課題に上 2 つのものを挙げるには、記載されている 1 つの指標だけでは不十分ではないかと思う。 ・ 71 頁の指標目標や取組について、25 頁に記載がある住民のニーズやケアマネジ

	<p>ヤーへの調査結果に対応した事業がある方が適切だと思う。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・25 頁の接続語は修正する。 ・38 頁に追加できる第7期計画の指標は他にありませんでした。 ・基準緩和訪問型サービスについては、71 頁ではなく 68 頁に追記することができる。
委員	<p>68 頁で構わない。不足しているというニーズに対して、何らかの形でそれに対する取組などを入れられると良い。</p>
委員	<p>64 頁の取組の「低栄養予防対策のための料理教室」について、フレイル状態にならないために介護者の料理教室は必要な事だと思う。在宅の人だと料理教室に通えない人もいて、配食サービスは安否確認だけではなく食事内容自体を精査して、その人が必要な栄養や量が取れているかを評価しないといけないと思う。また、厚生労働省ではフレイルだけではなく、オーラルフレイルという口腔機能の問題の有無や食事を食べられる状況かどうかを口腔観察できるように、保健所でも口腔観察シートを作成している。歯の体操や唾液腺の運動など予防的な取組も行わないといけないと思うので、オーラルフレイルについてももう少し考えていただければありがたい。</p>
事務局	<p>オーラルフレイルも必要な内容だと認識している。計画に入れられるかどうかを検討する。もし計画に記載できなくても、そのような事業は考えていきたい。</p>
委員	<p>51 頁からの日常生活圏域にて、アンケート調査結果などがまとめられている。町は今まで行政区で分けることが多かったが、今回小学校区で分けたのは、今後介護予防教室を小学校区で行うなど何か施策のためなのか。</p>
事務局	<p>介護予防事業などは歩いて行ける範囲で行うことを目指さないといけないと思う、小学校区で設定した。</p>
委員	<p>小学校区は分かりにくいと思う。住民には行政区ごとで地域特性などを示した方が分かりやすいと思う。ただし、行政区だと数が多くなるので紙面上の問題はあると思うが、今まであまり小学校区ごとで何かを取り組むということはないので、行政区の方が良いと思う。</p>
委員長	<p>検討をお願いします。</p>
委員	<p>12 頁以降にグラフとコメントが載っているが、コメントが載っていてグラフや表がないものやその反対がある。紙面の都合もあり全部載せる必要はないと思うが、コメントにあるグラフなどを全部載せることはできないのか。</p>
事務局	<p>アンケート結果の概要の中に載せられるか分からないが、載せられる限りはコメントがあるところに載せるようにする。ただし、紙面の都合があるので様子を見ながら決める。</p>
委員	<p>紙面の都合もあると思うが、読む人が分かりやすいような表現にしてあると良いと思う。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。まだまだ意見はあると思うが、個別に事務局に連絡いただければと思う。</p>

4 その他 第8期東郷町高齢者福祉計画策定スケジュール（案）について

事務局	資料説明。資料4
委員長	事務局から説明を頂いた。その他意見がないようであれば、議題は以上とする。進行を事務局へ戻す。
事務局	次回の地域ケア推進会議は令和2年11月上旬を予定している。日程が決定次第案内する。 また、9月2日に藤田医科大学の先生を講師に迎えて、認知症についての講演会をオンラインで実施する。初めての試みのため、平日の昼間だがぜひご視聴ください。 本日はありがとうございました。

以上